

# すくわくプログラム報告書

施設名	田中ナースリー大和保育園
クラス	0歳児
日付	2026.1.27

## 1 活動のテーマ

<テーマ>

水・色・光

## 2 <テーマの設定理由>

色水あそびで、色のきれいさを感じたことから、光に当て色の変化を感じて見る。太陽の光を利用し、色がどのように見えるか感じたり、影ができる面白さを感じる。

## 3 環境の設定

<活動のために準備した素材や道具>

ライティングテーブル  
色の積み木  
色水容器（食紅で色を作る）

#### 4 探索活動の実践内容

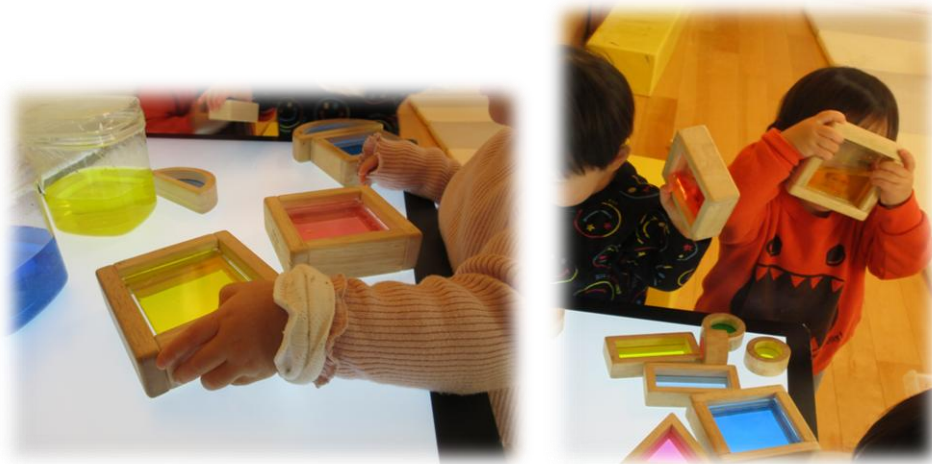
保育者がテーブルをセットすると興味を持ってすぐに集まってくる。

ライティングテーブルのライトがつくと目の色が変わり「わーっ」と喜び光の変化に気付いた。用意した色の積み木、色水に触れ色を観察をする。

保育者：「〇〇色かな」「のぞくとどんな感じに見えるかな？」声をかけて興味をもたせる。

子どもの様子： 積み木を持ち上げ、のぞき込んだり、保育者の顔をじっと見る。

ライトのつけ方を覚え消えると、自分たちでテーブルの光をつける。



次に扉に影ができたため、太陽の光を利用して当ててみる。

子どもの様子： 子どもたちも真似をして当てる。積み木の色水の揺れが影にうつり喜ぶ。

保育者： 子どもたちに影を知らせると、子どもが触ろうと反応する。



#### 5 振り返り

ライティングテーブルに関心をもち、ライトでテーブルが明るくなった時の、子どもの目の見開きがとても印象的だった。透明積み木の色が明るくなり、より色が鮮やかに見えたことが興味につながったのではないかと思う。

ライトを消すとすぐに付けてと目や指差しで訴えていたが、すぐに付け方を覚えた事には驚いた。明るくなった光がとても気に入ったようだった。

今回、色が入った積み木を用意したことで色の見え方が分かりやすかったが、テーブルに積み木を打ちつけることを楽しんでいたので、安全を考え割れにくいもので使用した方が良かったと感じた。

太陽の光で色の変化はあまり見られず、影を遊びに利用した。普段影に反応しないが、保育者が知らせることで影に気付き眺めていた。持った物が映る楽しさを感じていたのではないかと思う。